

北九州市(福岡県)の一体的実施①

平成24年1月16日事業開始

「若者ワークプラザ北九州」(市)及び「小倉新卒応援ハローワーク」(国)の施設を「北九州若者ジョブステーション」として一体的運営を実施し、若年者の就職支援の機能を強化

北九州若者ジョブステーション

市

概ね40歳以下の若年者
に対するカウンセリング



国

学生・既卒者を中心とした
若年者の職業相談・紹介

① 取組内容

- ・ 若年者に対するカウンセリングや就職支援に関するセミナー(学生向けを含む)の開催等
- ・ 学生や既卒者等に対する職業相談・職業紹介、学生支援全般

② 協定・運営方針

- ・ 北九州市長と福岡労働局長の間で協定(*)を締結
- ・ 北九州市と福岡労働局とで運営協議会を設置し、数値目標を含む運営計画を策定

* 一体的な運営に当たり市は局に要請することができ、局はその要請を誠実に実行する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・ 北九州市と福岡労働局で構成される運営協議会を設置



北九州市が行うカウンセリング等の若年者支援と、国が行う職業相談・職業紹介が連携したことにより、若年者に対するワンストップサービスが可能となった。

(1) 実施体制

若者ワークプラザ北九州(市)

- ・運営管理責任者 1人
- ・カウンセラー・ジョブカフェカウンセラー 計5人
- ・コーディネーター(受付・事務等) 3人

小倉新卒応援ハローワーク(国)

- ・職員1名
- ・学卒ジョブサポーター 6名
- ・職業相談員 1名 計8名
- ・求人情報提供端末10台、職員用端末5台

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(26年3月末時点)
利用者数	年間 19,000人	3月末 18,813人
	(参考)24年度目標 15,600人以上	(参考)24年度実績 19,112人
就職者数	年間 1,400人	3月末 1,708人
	(参考)24年度目標 950人以上	(参考)24年度実績 1,383人

一体的実施事業による就職成功例

男性：23歳 希望職種：建築技術者

○ 来所に至った経緯など

大学4年生。担当大学の就職課長より、面接対策指導の要請があり来所。

① 抱える課題

- ・コミュニケーションが苦手。人前で話せない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・若者WP北九州の集団セミナーに参加を促し、多人数の中で話す経験を積ませる。
- ・個別面談による苦手意識の原因聞き取り。
- ・発声練習として履歴書、自己紹介書を読み上げることから始め、徐々に自身の言葉で話せるよう面接練習を重ね自信を持たせた。

③ 結果

- ・建築技術者（正社員）採用
※支援期間 2か月

○ 学卒ジョブサポーターの所感

- ・しっかり勉強しており、自分に自信を持ったことで、就職に結び付けられた。

○ 本人のコメント

- ・何度も話す練習を重ねたことで、自分の意見が話せるようになり、自信が持てるようになった。

男性：24歳 希望職種：化学技術者

○ 来所に至った経緯など

大学院2年生。他県の大学院に在籍中での就職活動するが決まらず、帰省したのち来所。

① 抱える課題

- ・難聴（健常者）が原因で採用されないという自信喪失。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・履歴書、自己紹介書作成支援により自身の強みを確認させ自信を持たせる。
- ・若者WP北九州での個別カウンセリングに誘導し、難聴の課題への取り組みをアドバイスする。
- ・診療のうえ、就業への障害なしとの結果で自信を取り戻す。

③ 結果

- ・化学技術者（正社員）採用
※支援期間 7か月

○ 学卒ジョブサポーターの所感

- ・相談者の課題が難聴の受け止め方にあると考え、カウンセラーと連携を行い就職に結びつけた。

○ 本人のコメント

- ・不安がつの中、話をきちんと聞いてくれ、適切なアドバイスをいただき、感謝している。



北九州市長 北橋 健治

- 本市では、平成16年に「若者ワークプラザ北九州」を開設し、厳しい就職環境に対応しながら、本市の将来を担う若者をきめ細かに支援してまいりました。
平成24年1月には、隣接地に「小倉新卒応援ハローワーク」を迎え、「北九州若者ジョブステーション」として就業支援の「一体的実施」を開始しています。
- また、少子高齢化が急速に進展する中で、「北九州市高年齢者就業支援センター（平成11年開設）」を拠点として、高年齢者の豊かな経験や能力を活かした就業を支援してまいりました。平成24年4月からは、隣接していた「シティハローワーク・ウェルとばた」との連携を拡充する形で、就業支援の一体的実施を開始しています。
- これらの取組により、地域の実情にあわせた本市の雇用施策や、ハローワークの豊富な求人情報及び職業紹介機能など、両機関の特長を活かした効果的な支援が進んでおり、求職者の利便性も大きく向上しています。
- 今後も、市と国の密接な連携のもと「一体的実施」を行い、多くの若者や中高年の方が本市で活躍できるように取り組んでまいります。